4 中山道 宿場めぐりのみち

JR「武並」駅→
瑞浪コミュニティバス「細久手口」バス停

約5時間50分
15.1km（標高差250m）
（難易度 ★★☆☆☆）

恵那市・瑞浪市

みちの特徴

中山道の宿場町が残され、歴史を感じることができる。約731.5メートルの石畳の道が現存しており、古の情緒を感じることができる。

トイレ	●JR「武並」駅 ●樫の木の石畳付近 ●大湫宿 ●琵琶峠の石畳付近 ●細久手公民館
駐車場	●大久後駐車場 ●大湫宿駐車場 ●大湫宿西駐車場 ●細久手公民館駐車場

スタート地点（武並駅）

JR「武並」駅（スタート）
武並駅から国道19号線に向かって緩やかな車道を上る。信号のある交差点で右折し中央自動車道をくぐり北西に進んでいく。

約40分

恵那市コミュニティバス「深萱上」バス停
道中にはトイレがあり、ちょうどよい休憩所になる。樫の木の石畳、三十三観音などの史跡が続く。

約120分

大湫宿（おおくてしゅく）
琵琶峠を中心とする約731.5メートルの石畳の道は、当時の面影が残されている。

約30分

琵琶峠の石畳
舗装路を歩くが、周りは里山の雰囲気が残り、ゆったり歩くことができる。

約120分

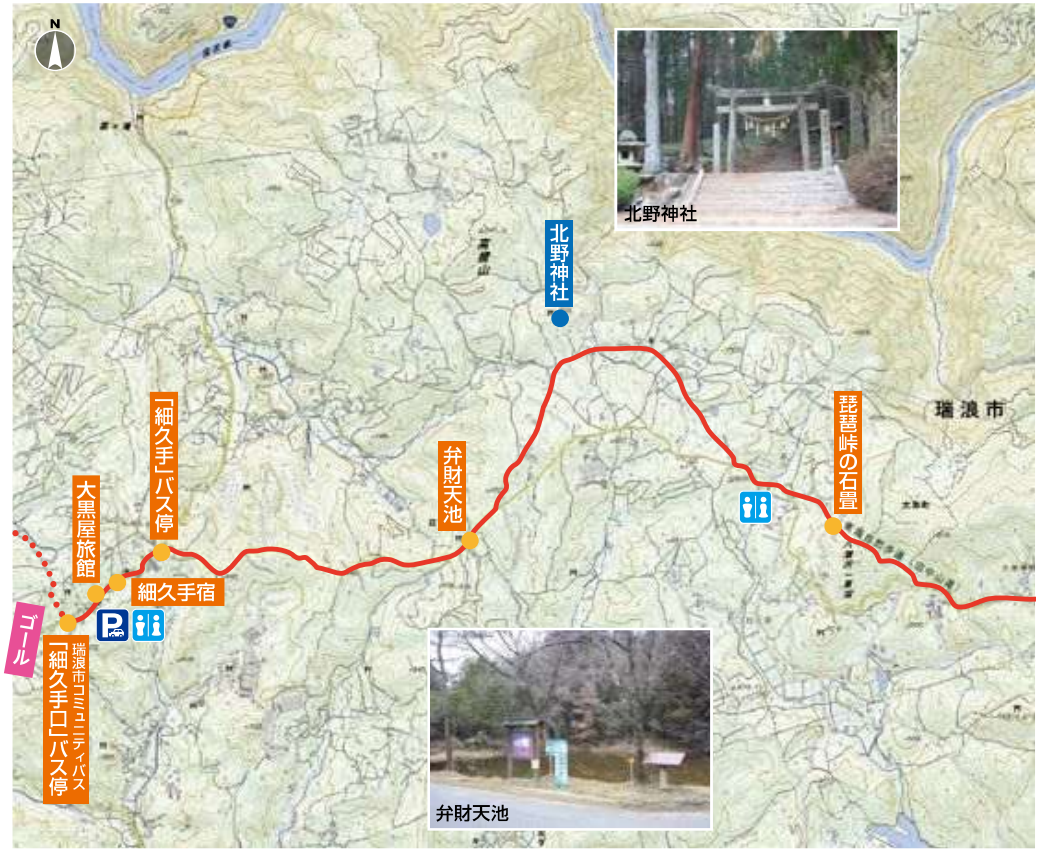
弁財天池

約40分

瑞浪市コミュニティバス「細久手口」バス停（ゴール）

琵琶峠の石碑

三十三観音



弁財天池

大黒屋旅館

大湫宿

みどころ

【大湫(おおくて)宿】
江戸より数えて第47番目の宿。本陣跡、問屋場跡、脇本陣などがあり当時の姿そのままの宿風情を伝える。

【琵琶峠の石畳】
琵琶峠は標高約557m（道路部分は約544m）の美濃国内で最も高い峠。昭和45年に日本最長級の石畳が発見された。周辺には往時の面影を残す石仏や一里塚が残る。

【細久手(ほそくて)宿】
江戸より数えて第48番目の宿。「細久手宿のこうしんさま」として親しまれたお堂・庚申堂や、かつての尾州家定本陣・大黒屋などがある。

琵琶峠の石畳